

宮城県立がんセンター内視鏡診断治療システム賃貸借仕様書

1 概要

宮城県立がんセンターで使用する内視鏡治療診断システム（以下「リース機器」という。）の賃貸借及び賃貸借終了後の機器の撤去等に関して定めるものである。

2 賃貸借物品名

宮城県立がんセンター内視鏡治療診断システム等賃貸借

3 履行・納入場所

宮城県立がんセンター（名取市愛島塩手字野田山47-1）

4 納入期限

令和4年3月31日

5 賃貸借期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

6 賃貸借物品の規格・数量

別紙「詳細仕様書」のとおり。

7 納入等

- リース機器の納入は、令和4年3月下旬を想定しているが、詳細な日程については、宮城県立がんセンター担当者と調整の上、病院の業務に支障がないよう行うこと。
- 原則として、全ての賃貸借物品に、落札者名及び識別コード（ユーザー名称）等が確認できるシールが確認しやすい位置に貼付してあること。
なお、シールの貼付が難しい機器については、別途協議を行うものとする。
- 梱包材等は落札者の責任で処分すること。

8 導入計画

- 落札者は契約締結後、全ての賃借物品について、納入条件等を満たすよう確実に納品するための導入計画書を作成し提出すること。
- 導入計画書には、以下の内容を明記すること。
 - 落札から納品までの作業内容及び日程
 - 発注者に要望すべき作業項目、作業工数及び開始時期と期間
 - その他、上記以外の項目であっても、導入に当って特に注意を有する事項がある場合は、必ず明記すること。

9 検収

賃貸借物品の搬入据付調整後に、病院機構本部及びがんセンター担当者立会いの下、検査を実施し、合格をもって検収とする。

10 保証

落札者の業務上の不備と認められる故障は、無償で修復を行うこと。

その他、製造者の保証する機器・製品等は、その製造者の保証する期間は無償で修復を行うこと。

11 賃貸借機器の撤去

落札者は、契約期間満了後、返却又は再賃貸借の契約を行うものとする。

返却の際、回収・解体・廃棄及びデータの削除に係る全ての費用は、入札金額に含むものとする。

12 機密保持

(1) 事業者は、いかなる場合においても、本契約の履行中に知り得た情報（業務に関わる事項及び付随する事項）に関して、第三者に開示又は漏洩しないこと。

また、そのために必要な措置を講ずること。

なお、契約期間終了後に、関係する情報を廃棄すること。

(2) (1) については、本契約が終了した後も、有効に存続する。

13 その他

本仕様書に定めのない事項については、発注者と協議の上決定するものとする。

内視鏡診断治療システム(内科系)詳細仕様書

番号	品名	数量	仕様等
1	上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-XZ1200	3台	1 ワンタッチコネクターを採用し取扱いが容易であること
			2 CMOSイメージセンサーを採用し、ノイズの少ない高精細な画像で観察ができること
			3 EVIS X1システムとの組み合わせによりNBI/TX1/RDIなどの画像強調観察が可能なこと
			4 OEV321UH(4K対応LCDモニター)との組み合わせで、近接拡大観察時に最大125倍の観察倍率が得られること
			5 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
			6 鉗子口内径が2.8mm以上であること
			7 湾曲角が上方210°以上、下方向90°以上、左右方向共に100°以上であること
			8 先端部・軟性部の外径が9.9mm以内であること
			9 副送水口を有しており、鉗子口以外からでも送水が出来ること
2	上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-EZ1500	3台	1 ワンタッチコネクターを採用し取扱いが容易であること
			2 CMOSイメージセンサーを採用し、ノイズの少ない高精細な画像で観察ができること
			3 EVIS X1システムとの組み合わせによりNBI/TX1/RDIなどの画像強調観察が可能なこと
			4 近点・遠点それぞれにピントを合わせ2つの画像を合成する被写界深度拡大技術(EDOF技術)を搭載していること
			5 OEV321UH(4K対応LCDモニター)との組み合わせで、近接拡大観察時に最大100倍の観察倍率が得られること
			6 鉗子口内径が2.8mm以上であること
			7 湾曲角が上方210°以上、下方向90°以上、左右方向共に100°以上であること
			8 先端部・軟性部の外径が9.9mm以内であること
			9 副送水口を有しており、鉗子口以外からでも送水が出来ること
3	上部消化管汎用ビデオスコープ GIF-H190	2台	1 視野角が140°以上あること
			2 視野方向が直視であること
			3 観察深度が3mm以上～100mm以内であること
			4 副送水口を有しており、鉗子口以外からでも送水が出来ること
			5 有効長が1030mm以上であること
			6 鉗子口内径が2.8mm以上であること
			7 湾曲角が上方210°以上、下方向90°以上、左右方向共に100°以上であること
			8 クロスフォーカス機能により観察時に2mmまで対象に近づくことが可能であること
			9 先端部・軟性部の外径が9.2mm以内であること
			10 スコープID機能を搭載し、オートホワイトバランスやスコープデータのモニター表示が可能であること
			11 X1電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
4	上部消化管汎用処置ビデオスコープ GIF-H290T	1台	1 先端部径φ9.8mm、軟性部径φ9.9mmを有しており、かつφ3.2mmの大径チャンネルを有すること
			2 送水専用の副送水チャンネル(ウォータージェット機能)が装備されていること
			3 140°の広角な視野、高解像な画像を有しており確実な診断が行えること
			4 ワンタッチコネクターを採用し防水キャップ着脱が不要であること
			5 湾曲角が上方210°以上、下方向120°以上、左右方向共に100°以上であること
			6 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
5	上部消化管汎用経鼻ビデオスコープ GIF-1200N	2台	1 先端部外形φ5.4mmで経口・経鼻挿入可能な極細径スコープであること
			2 EVIS X1システムとの組み合わせによりNBI/TX1/RDIなどの画像強調観察が可能なこと
			3 ワンタッチコネクターの採用により、検査セットアップと検査後のスコープ取扱いが容易であること
			4 CMOSイメージセンサーを採用しノイズの少ないハイビジョン画質を有していること
			5 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
6	十二指腸ビデオスコープ JF-260V	1台	1 視野角が100°以上あること
			2 視野方向が後方斜視であること
			3 観察深度が5mm以上～60mm以内であること
			4 鉗子起上台を有していること
			5 有効長が1240mm以上であること
			6 鉗子口内径が3.7mm以上であること
			7 湾曲角が上方向120°以上、下方向90°以上、左方向90°以上、右方向110°以上であること
			8 スコープ操作部の手元スイッチにより、画像フリーズ・リリース・プリント等のリモート操作が行えること
			9 先端部・軟性部の外径が12.6mm以内であること
			10 スコープID機能を搭載し、オートホワイトバランスやスコープデータのモニター表示が可能であること
			11 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること

内視鏡診断治療システム(内科系)詳細仕様書

番号	品名	数量	仕様等
7	十二指腸ビデオスコープ TJF-Q290V	2台	1 軟性部径φ11.3mm、手元側の押し引き・トルクがスコープ先端まで伝わりやすい高伝達挿入部を搭載していること
			2 視野方向が後方斜視であること
			3 φ4.2mmの鉗子チャンネル・起上台を有していること
			4 面順次方式を採用したビデオスコープでQ-image対応CCDを搭載しており、高精細でクリアな画像を有していること
			5 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
8	大腸ビデオスコープ PCF-H290ZI	4台	1 拡大倍率110倍以上の光学ズームを備えていること
			2 視野角が通常観察時170°以上、拡大観察時85°以上あること
			3 視野方向が直視であること
			4 観察深度が通常観察時7mm以上～100mm以内、拡大観察時1mm以上～2mm以内であること
			5 副送水口を有しており、鉗子口以外からでも送水が出来ること
			6 有効長が1330mm以上であること
			7 鉗子口内径が3.2mm以上であること
			8 湾曲角が上方向180°以上、下方向180°以上、左右方向共に160°以上であること
			9 スコープ操作部の手元スイッチにより、画像フリーズ・リリース・プリント等のリモート操作が行えること
			10 先端部・軟性部の外径が11.8mm以内であること
			11 スコープID機能を搭載し、オートホワイトバランスやスコープデータのモニター表示が可能であること
			12 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
9	大腸ビデオスコープ CF-XZ1200I	1台	1 ワンタッチコネクターを採用し取扱いが容易であること
			2 CMOSイメージセンサーを採用し、ノイズの少ない高精細な画像で観察ができること
			3 EVIS X1システムとの組み合わせによりNBI/TXI/RDIなどの画像強調観察が可能なこと
			4 OEV321UH(4K対応LCDモニター)との組み合わせで、近接拡大観察時に最大135倍の観察倍率が得られること
			5 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
			6 挿入部最大径12.8mm、RIT*機能(硬度可変機能に加えて、受動湾曲部と高伝達挿入部を採用
			7 副送水口を有しており、鉗子口以外からでも送水が出来ること
			8 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
10	小腸ビデオスコープ SIF-H290S	1台	1 ディスポーザブルスライディチューブ(ST-SBIS)と組み合わせ使用することにより、可動性のある腸管を通過する際も、腸管内壁をバルーンで固定し安定した挿入が可能であること
			2 ハイビジョン対応CCDを採用しており、高精細な画像で診断が可能であること
			3 光デジタル法による狭帯域光観察(NBI)が可能であること
			4 鉗子口内径が3.2mm以上であること
			5 術後再建症例で使用できること
			6 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
11	気管支ビデオスコープ BF-P290	1台	1 視野角が110°以上あること
			2 挿入部回転機能があること
			3 視野方向が直視であること
			4 観察深度が2mm以上50mm以内であること
			5 有効長が600mm以上であること
			6 鉗子口内径が2.0mm以上であること
			7 湾曲角が上方向210°以上、下方向130°以上であること
			8 スコープ操作部の手元スイッチにより、画像フリーズ・リリース・プリント等のリモート操作が行えること
			9 先端部・軟性部の外径が4.2mm以内であること
			10 スコープID機能を搭載し、オートホワイトバランスやスコープデータのモニター表示が可能であること
			11 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
12	超音波ガストロビデオスコープ GF-UE290	1台	1 周波数は、5/6/7.5/10/12MHz切り替え可能であり、診断部位の形状、大きさにより使い分けができること
			2 視野方向が前方斜視50°であること
			3 ドブラ機能により、血流動態の把握が可能であること
			4 超音波画像が抽出でき、生検が行えること
			5 電子ラジアル走査方式を採用しており、広範囲360°の走査・表示が可能であること
			6 鉗子口内径が2.2mm以上であること
			7 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
			8 既存の超音波観測装置に接続できること

内視鏡診断治療システム(内科系)詳細仕様書

番号	品名	数量	仕様等
13	光源一体型ビデオシステムセンター CV-1500	5台	1 5LED採用していること
			2 BAI-MAC機能を有すること
			3 NBIIに加え、TXI/RDI機能を有すること
			4 光源一体型プロセッサであること
			5 面順次方式と同時式の2つの内視鏡撮像方式に対応していること
			6 病院既存の内視鏡ビデオスコープが接続可能であること
14	ビデオシステムセンター CV-290 (5年延長)	3台	1 側光方式を複数備え、またその各々を切り替えできる機能を有すること
			2 内視鏡画像の構造強調の設定を段階的に切り替えられる機能を有すること
			3 内視鏡画像のコントラスト調整が出来ること
			4 内視鏡画像の色彩強調の調整が行えること
			5 カラービデオプリンターやDICOMコンバータのリモート制御が行なえること
			6 搭載されている特殊光の機能にて光デジタル法の画像強調観察が可能であること
			7 ハイビジョン対応の電子内視鏡スコープが接続できること
			8 病院既存の内視鏡ビデオスコープが接続可能であること
15	カラービデオプリンター OEP-6	1台	1 電子内視鏡システムと接続することにより、内視鏡画像をプリントできること
			2 プリントする際、電子内視鏡スコープのリモートスイッチから画像のメモリプリントができること
			3 ハイビジョンに対応した装置であること
			4 内視鏡汎用トローリに搭載可能であること
			5 プリントサイズはA5判以上でハイビジョン信号も再現できること
			6 病院既存のビデオシステムセンターおよび番号12のビデオシステムセンターに接続できること
16	4K UHD LCDモニター OEV321UH	7台	1 画面サイズは32型以上であること
			2 4K高解像度の画質で表示が可能なこと
			3 画像表示機能(PIPなど)により複数のモダリティとの接続が可能なこと
17	高解像24型モニター AMM240ED	1台	1 画面サイズは24型以上であること
			2 解像度はFHD 1920 × 1080の表示ができること
			3 HD/SD SDI端子の入力を2系統、出力を系統装備していること
18	内視鏡用炭酸ガス送気装置 UCR	1台	1 消化管内視鏡検査における炭酸ガス送気を最適な流量で安定供給できること
			2 ワンタッチなボタン操作で、炭酸ガスの送気、停止を制御できること
			3 ガスチューブの交換により3段階の炭酸ガス送気流量の設定が可能であること
19	内視鏡用送水ポンプ OFP-2	5台	1 電子内視鏡スコープの鉗子チャンネル・副送水チャンネルのどちらにも接続可能であること
			2 流量の調整が可能であること
			3 病院既存の電子内視鏡ビデオスコープが接続可能であること
20	内視鏡用汎用トローリ WM-NP3	7台	1 ビデオシステムセンター・高輝度光源装置・カラービデオプリンター・DICOMコンバーターが搭載可能であること
			2 内部に電源の絶縁トランスを有していること
			3 電子内視鏡ビデオスコープを掛けられること
21	生体モニタ DS-8100N	1式	1 幅300mm × 高さ265mm × 奥行75mm以下であること
			2 タッチスクリーンで操作可能なこと
			3 搬送用モニタでバッテリー動作可能なこと
22	高周波焼灼電源装置及びアルゴンプラズマ装置 VIO3, APC3	1式	1 全てのモードは電圧を一定にし、且つ最小限の出力を自動的に調整する機能を有すること
			2 切開・凝固モードを合わせて15種類以上搭載していること
			3 内視鏡治療においてより安全な切開を実現するための専用モードがあること
			4 アルゴンプラズマ凝固機能を有していること
			5 対極板安全監視機能を有し、熱傷に対する補償を行っていること
23	高周波焼灼電源装置 ESG-150	1台	1 様々な手技に対応可能な5つのモノポーラモードを搭載していること
			2 ベーシックモードとアドバンスモードを搭載していること
			3 安定した凝固・切開をサポートするハイパワーカットモードとファストスパークモニターを搭載していること

内視鏡診断治療システム(内科系)詳細仕様書

番号	品名	数量	仕様等
24	DICOMコンバーター Dicomizer NEO	1台	1 オーダリング装置で発行された検査依頼情報をMWMサーバーにより取り込む機能を有すること 2 電子内視鏡システムにより取得するアナログ画像をDICOMデジタル画像に変換する機能を有すること 3 電子内視鏡システムから出力されるトリガー信号のタイミングを受けて内視鏡画像を生成できること 4 電子内視鏡システムに対して患者情報を送信する機能を有していること 5 病院既存の内視鏡システムに接続可能であること
25	動画記録装置 MV-1GP	5台	1 内視鏡観察中の静止画像記録、処置の過程を記録するための動画記録に対応すること 2 1TBのHDDが搭載されており長時間動画の記録、また多くの検査動画を保存できること 3 HDD、USBストレージ、ネットワークに対応していること 4 病院既存の内視鏡システムに接続可能なこと
26	モニタースタンド	6台	1 32インチまでのモニターに対応できること 2 キャスター付きで移動できること
27	取付ケーブル費用 MAJ-2429他	1式	1 上記の機器の機能を発揮する上で必要なケーブル等を準備すること 2 病院既存の機器と接続する場合に必要なケーブル等を準備すること
27	トローリー接続部品費用 MAJ-2473他	1式	1 内視鏡用汎用トローリーに接続可能であること 2 上記の機器の機能を発揮する上で必要な部品等を準備すること
27	設置・調整費用	1式	1 上記の機器を搬入・設置・調整する全ての工程を行えること